

第62回 かんもん景気ウォッチャー調査

《令和2年2月調査結果》

～ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあって、

関門地域の景気は3期連続の悪化

先行きは、さらに悪化の見込み

～

最終消費を中心とした関門地域の景気動向を、「第62回かんもん景気ウォッチャー調査」結果からみると、3か月前と比べた景気の方角性判断D.I.は45.6となり、3期連続して“景気は横這い”であることを示す50.0を下回った。

現在の景気の水準判断D.I.は、前回調査（令和元年11月）の37.5から4.4ポイント悪化して33.1となった。

景気の先行きの方角性判断D.I.は、37.5と、悪化幅の拡大が予想されている。

景気ウォッチャーによる判断を総合すると、関門地域の景気の現状は、消費関連の、暖冬の影響による冬物衣料の販売低迷、大型小売店のリニューアル工事に伴う買物客の減少に加え、観光関連の、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、外国人観光客の大幅な減少、国内旅行のキャンセルの増加などもあって、3期連続で悪化した。

先行きについては、新型コロナウイルス感染が短期間で収束に向かうことは見込めないとする意見が多く、観光関連を中心に、さらに悪化することが予想されている。

照会窓口：調査室

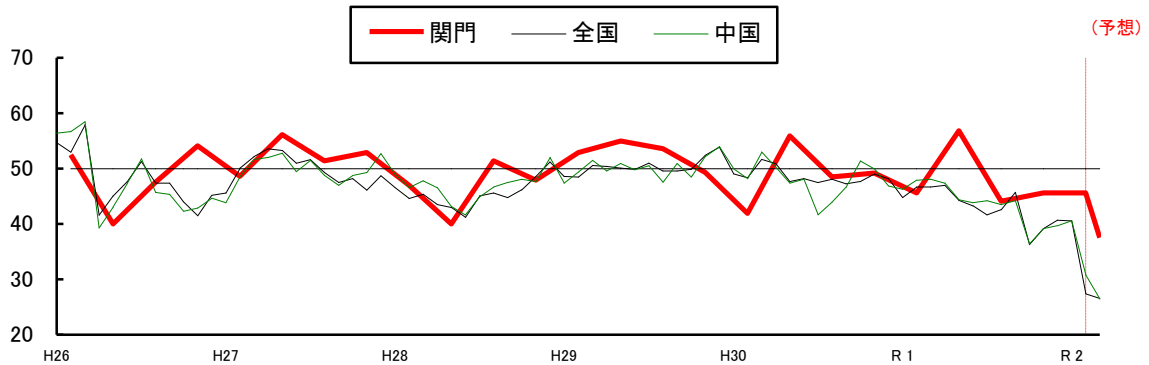
TEL：083-223-3632

調査結果概要

1. 景気の方角性に関する判断D. I.

▽「景気の方角性判断D. I. の推移」(平成26年以降)【原数値】

【詳細はP6参照】



平成31年 2月実績	令和元年 5月実績	8月実績	11月実績	令和2年 2月実績	5月予想
45.6	56.8	44.1	45.6	45.6	-
前回調査 予想 46.3	前回調査 予想 52.2	前回調査 予想 44.7	前回調査 予想 36.0	前回調査 予想 36.0	今回調査 予想 37.5

(1) 現在の景気の方角性判断D. I.

3か月前と比べた関門地域の現在の景気の方角性判断D. I. は、45.6 となり、3期連続して“景気は横這い”であることを示す 50.0 を下回った。

今期は、暖冬による冬物衣料などの販売不振に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外国人観光客の大幅な減少や、各種イベント等の中止、国内旅行等の自粛等の影響から、観光関連を中心に、3期連続の悪化となった。

(内閣府令和2年2月調査結果：全国 27.4、中国 30.8)【原数値】

(2) 景気の先行きの方向性判断D. I.

3か月先（令和2年5月頃まで）の景気の先行きの方向性判断D. I. は、大型小売店のリニューアル効果への期待はあるものの、新型コロナウイルスが短期間で収束に向かうことは見込めないとする意見が多く、消費マインドの冷え込みも予想されることから、37.5と、さらに悪化することが予想されている。

（内閣府令和2年2月調査結果：全国26.6、中国26.4）【原数値】

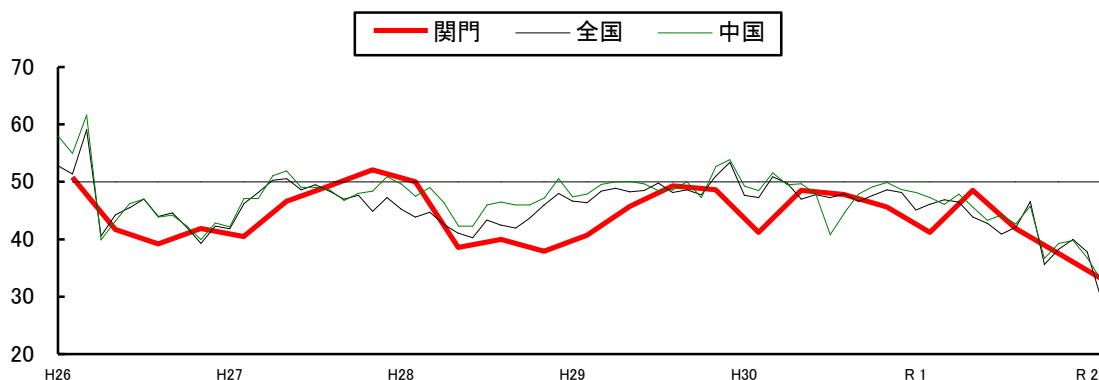
2. 景気の水準に関する判断D. I.

現在の景気の水準に関する判断D. I. は、前回調査の37.5から4.4ポイント悪化して33.1となった。

水準判断D. I. としては、東日本大震災直後の、平成23年5月調査（27.5）以来の低水準となっている。

▽「景気の水準判断D. I. の推移」（平成26年以降）【原数値】

【詳細はP7参照】



	平成31年 2月実績	令和元年 5月実績	8月実績	11月実績	令和2年 2月実績
関門地域	41.2	48.5	41.9	37.5	33.1
全国	46.1	43.9	42.1	38.3	29.3
中国地域	47.3	45.6	42.7	39.3	32.7

景気ウォッチャーからは、調査期間の2月後半にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が強まり、外国人観光客の大幅な減少、各種イベント等の中止に伴う外出自粛の動きもあって、観光関連、飲食業を中心に悪化の意見が多くなった。

先行きについても、早期に収束に向かうことを望む意見が多いが、感染拡大前の水準まで回復するには相当な時間を要し、多くの業種で影響が大きくなることも予想され、特に外国人観光客については回復しない可能性もあるといった意見が多く聞かれた。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、外国人観光客への依存度の高いホテルや、国内ツアーなど、団体客が中心の飲食店で特に深刻化しており、「昨年終盤からの韓国人観光客の減少が続くなかで、中国人ツアー客の減少の影響は大きく、個人客では埋め合わせができず対策が難しい」（ホテル）、「感染が拡大するに連れて、外出自粛の動きも強まり、観光客だけでなく、宴会や食事のキャンセルが相次いでいる」（飲食店）といった意見があった。

日本人観光客が中心のホテルなどでも、「予約の際に中国人観光客の宿泊の有無を確認する客が多くなった。一旦予約は受けたが、外出自粛の動きを受けてキャンセルが増加している」といった意見があった。

旅行会社からは、「入国制限や、修学旅行などのイベントの中止に伴い、海外旅行、国内旅行の9割がキャンセルとなった。例年であれば先行きはゴールデンウィークで上向く時期であるが、感染が収束に向かう時期が不明で、全く予想が立たない。仮に収束に向かったとしても、元の状態に戻るまでに時間がかかり、行き先の国や地域によっては敬遠されるところが出てくる可能性もある」といった意見が聞かれた。

消費関連では、消費税増税前の駆け込み需要の反動が継続しているなかで、大型小売店のリニューアル工事の影響もあって、買物客が減少

しているといった意見が聞かれた。

また、「暖冬による野菜の育ち過ぎで値崩れしているところに、飲食店からの需要が落込み、収益が減少している」（商工団体）といった意見も聞かれた。

外食の自粛から、スーパーやコンビニエンスストアなどの弁当や食材の売上が伸びるなどの変化が出てきているほか、マスクや一部紙製品の買占めが起こるなど、混乱も生じている。

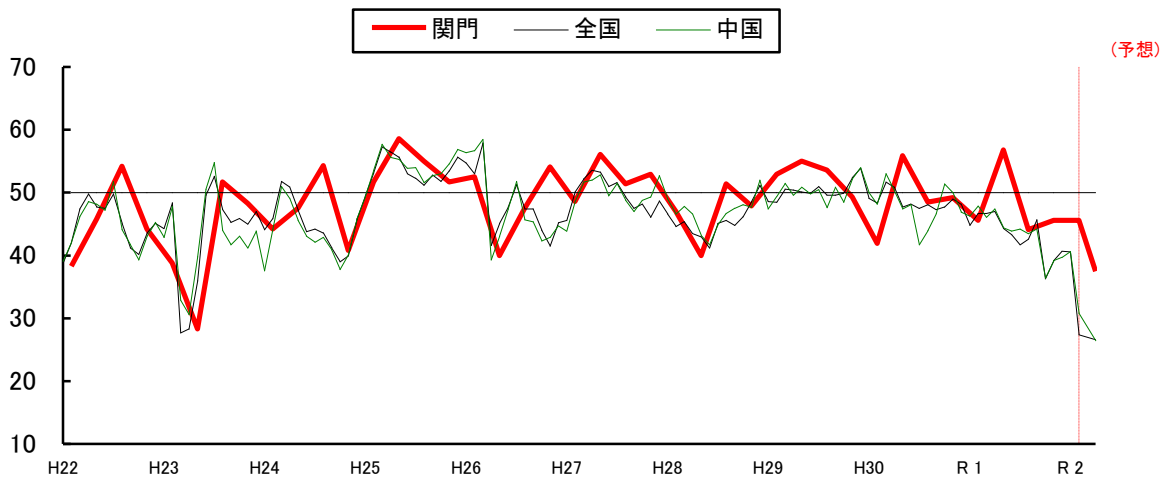
タクシー業界からは、「2月から料金改定を実施したが、暖冬の影響や、タクシーでの感染拡大報道もあって利用が減少し、売上は料金改定前を下回っている」などの意見も聞かれた。

そのような中で、3月にリニューアルオープンする大型小売店の集客効果や、長門市の知名度の高い温泉旅館の開業の、関門地区への波及効果に期待する意見があったほか、門司港レトロ地区の温浴施設が4月に着工する見込みとなっているなど、新たな動きも出てきている。

一方で、8月に実施予定の海峡花火大会については、東京オリンピックが予定どおり開催された場合には、警備関係の人手不足により、門司側の花火打上げが中止される可能性が出てきている。

【参考】

「景気の方角性判断D. I. の推移」(平成22年以降)【原数値】

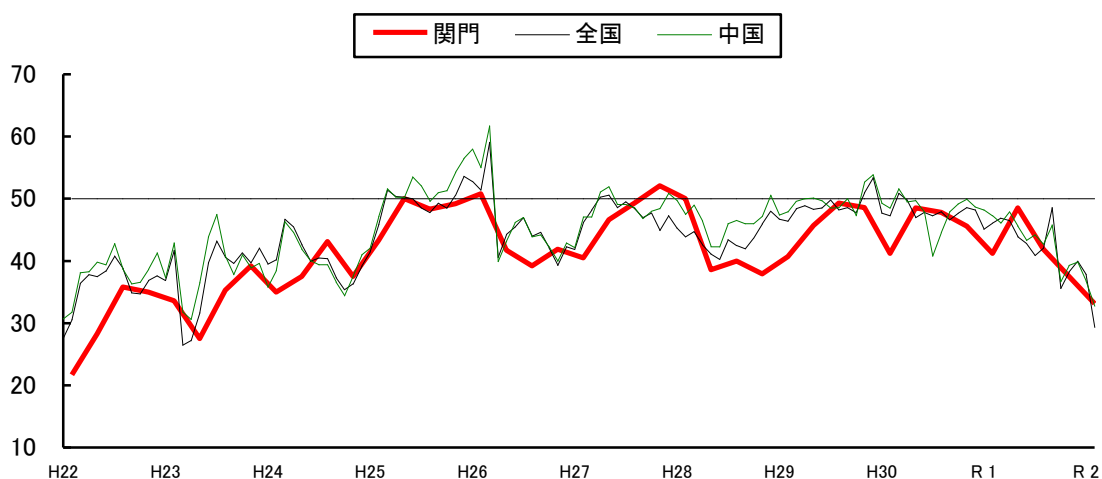


(全国、中国地域は毎月調査)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
関門地域	H22		38.3			45.8			54.2			44.2	
	H23		38.8			28.3			51.7			48.3	
	H24		44.2			47.5			54.3			40.8	
	H25		51.7			58.6			55.0			51.7	
	H26		52.5			40.0			47.5			54.1	
	H27		48.6			56.1			51.4			52.9	
	H28		47.0			40.0			51.4			47.9	
	H29		52.9			55.0			53.6			49.3	
	H30		41.9			55.9			48.5			49.2	
	R 1		45.6			56.8			44.1			45.6	
	R 2		45.6			37.5	(予想)						
全国	H22	38.8	42.1	47.4	49.8	47.7	47.5	49.8	45.1	41.2	40.2	43.6	45.1
	H23	44.3	48.4	27.7	28.3	36.0	49.6	52.6	47.3	45.3	45.9	45.0	47.0
	H24	44.1	45.9	51.8	50.9	47.2	43.8	44.2	43.6	41.2	39.0	40.0	45.8
	H25	49.5	53.2	57.3	56.5	55.7	53.0	52.3	51.2	52.8	51.8	53.5	55.7
	H26	54.7	53.0	57.9	41.6	45.1	47.7	51.3	47.4	47.4	44.0	41.5	45.2
	H27	45.6	50.1	52.2	53.6	53.3	51.0	51.6	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7
	H28	46.6	44.6	45.4	43.5	43.0	41.2	45.1	45.6	44.8	46.2	48.6	51.2
	H29	48.6	48.5	50.6	50.4	50.1	49.9	51.0	49.6	49.6	49.9	52.4	53.9
	H30	49.1	48.4	51.7	50.9	47.7	48.2	47.5	48.1	47.3	47.7	49.0	48.2
	R 1	44.8	46.7	46.7	47.0	44.3	43.3	41.7	42.6	45.7	36.3	39.2	40.7
	R 2	40.6	27.4			26.6	(予想)						
中国地域	H22	39.1	42.1	46.2	48.6	48.2	47.2	51.8	44.1	41.7	39.3	43.1	45.3
	H23	42.9	47.8	32.9	30.6	39.8	50.6	54.8	44.0	41.7	43.1	41.2	43.9
	H24	37.6	44.2	51.0	49.1	45.6	43.1	42.1	42.9	40.9	37.8	40.2	45.9
	H25	49.4	53.6	57.7	55.6	55.3	53.9	54.0	51.6	52.7	53.0	54.6	56.9
	H26	56.4	56.7	58.5	39.3	43.1	47.4	51.8	45.7	45.4	42.3	42.9	44.7
	H27	43.9	48.6	51.7	52.0	52.8	49.5	51.5	48.8	47.0	48.8	49.3	52.7
	H28	49.0	46.6	47.8	46.6	43.2	41.7	44.9	46.7	47.5	48.1	47.7	52.0
	H29	47.4	49.4	51.5	49.6	50.9	49.8	50.5	47.6	50.9	48.5	52.2	54.0
	H30	50.0	48.2	53.0	50.3	47.4	48.1	41.7	44.0	46.7	51.4	50.0	46.9
	R 1	46.3	47.9	46.1	47.4	44.4	43.9	44.2	43.5	44.2	36.4	39.2	39.7
	R 2	40.6	30.8			26.4	(予想)						

【 参 考 】

「景気の水準判断D. I. の推移」(平成 22 年以降)【原数値】



(全国、中国地域は毎月調査)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
関 門 地 域	H22		21.7			28.3			35.8			35.0	
	H23		33.6			27.5			35.3			39.2	
	H24		35.0			37.5			43.1			37.5	
	H25		43.3			50.0			48.3			49.2	
	H26		50.8			41.7			39.2			41.9	
	H27		40.5			46.6			49.3			52.1	
	H28		50.0			38.6			40.0			37.9	
	H29		40.7			45.7			49.3			48.6	
	H30		41.2			48.5			47.8			45.6	
	R 1		41.2			48.5			41.9			37.5	
	R 2		33.1										
全 国	H22	27.6	30.6	36.4	37.8	37.5	38.4	40.8	38.8	34.9	34.7	36.9	37.6
	H23	36.9	41.7	26.5	27.2	31.7	39.7	43.2	40.6	39.6	41.3	39.7	42.1
	H24	39.5	40.2	46.7	45.5	42.6	40.0	40.5	40.4	37.3	35.4	36.3	39.2
	H25	41.5	45.9	51.4	50.4	50.3	50.0	48.5	47.8	49.3	48.5	50.6	53.6
	H26	52.8	51.4	59.1	40.6	44.3	45.5	47.0	44.0	44.6	42.1	39.3	42.3
	H27	41.9	46.2	48.2	50.3	50.6	48.6	49.5	48.4	47.0	47.7	44.9	47.3
	H28	45.3	43.9	44.7	42.6	41.1	40.3	43.4	42.5	42.0	43.7	46.0	48.0
	H29	46.7	46.4	48.4	48.9	48.3	48.5	49.8	48.2	48.6	47.8	51.0	53.4
	H30	47.7	47.3	50.9	49.8	47.0	47.8	47.3	47.9	46.6	47.7	48.6	48.2
	R 1	45.1	46.1	46.9	46.5	43.9	42.8	40.9	42.1	46.6	35.6	38.3	40.0
	R 2	37.8	29.3										
中 国 地 域	H22	30.7	31.8	38.1	38.3	39.8	39.4	42.8	38.7	36.3	36.6	38.7	41.3
	H23	37.3	42.9	31.8	30.6	36.5	43.9	47.5	40.8	37.8	41.0	38.9	39.6
	H24	35.8	38.5	46.3	44.6	41.9	40.1	39.4	39.4	36.6	34.4	37.6	41.0
	H25	42.1	47.2	51.6	50.3	50.2	53.5	52.1	49.6	51.0	51.3	54.3	56.5
	H26	58.0	55.0	61.7	39.9	43.2	46.2	47.0	43.9	44.2	42.3	40.0	42.9
	H27	42.2	47.1	47.1	51.1	51.9	49.1	49.1	48.6	46.8	48.0	48.4	50.9
	H28	49.7	47.5	49.0	46.4	42.3	42.3	46.0	46.5	46.0	46.0	47.2	50.6
	H29	47.4	47.9	49.6	50.0	50.1	49.7	48.5	48.6	50.0	47.3	52.7	53.9
	H30	49.3	48.5	51.6	49.5	49.7	47.9	40.8	44.6	47.9	49.2	49.9	48.7
	R 1	48.2	47.3	46.1	47.9	45.6	43.3	44.2	42.7	45.8	36.7	39.3	39.8
	R 2	36.8	32.7										

かんもん景気ウォッチャー調査の概要

1. 調査の目的

関門地域の、景気に関連の深い動きを観察できる立場にある方々から、景気の現状、先行きに関するご意見を伺い、関門地域の景気動向判断を行うことを目的とする。

2. 調査の範囲

- ① 対象地域：下関市および北九州市門司区の関門地域。
- ② 調査対象：個人消費動向を中心に景気動向を観察できる方々34人。
製造業（5人）、建設業（3人）、大型小売店・専門店等（4人）、
飲食店関係（4人）、運輸業（2人）、タクシー業界（3人）、
観光関連（6人）、商工業団体等（7人）

3. 調査事項

- ① 景気の現状に対する水準・方向性判断及び判断理由
- ② 景気の先行きに対する方向性判断及び判断理由

4. 調査時期

年4回（2月、5月、8月、11月）

5. D. I. の算出方法

景気の現状、又は先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を、各回答区分の構成比（%）に乗じて、D. I. 値を算出。

【評価】	【点数】
良い・良くなる・良くなっている	… +1.0
やや良い・やや良くなる・やや良くなっている	… +0.75
どちらとも言えない・変わらない	… +0.5
やや悪い・やや悪くなる・やや悪くなっている	… +0.25
悪い・悪くなる・悪くなっている	… 0

6. D. I. の見方

D. I. は、「50」を基準点として、上回れば「良い（良くなる）」との見方が多く、下回れば「悪い（悪くなる）」との見方が多いことを示す